

# (竜王南小) 学校 学校関係者評価書

令和 2年 2月 17日 (月)

(竜王南小学校) 学校関係者評価委員会作成

## 第1回 学校関係者評価委員会

実施日：令和 2年 2月 14日 (金) 午後 3時～

会場：竜王南小学校会議室

参加者：(学校関係者評価委員) 鶴田重雄 梶原照夫 込山伸一 米山壽浩

PTA役員 会長 古屋祐治

副会長 中山友紀 志村香奈 長田琴江

(学校側) 校長 金子 浩

教頭 本田 司

教務主任 久保田勲

生徒指導主任 小池洋美

### I 学校側から提案された内容

- (1) 教職員の自己評価結果及び改善策
- (2) 児童・保護者アンケート結果
- (3) 児童・保護者アンケートから見える課題

### II 協議された主な内容

- (1) 家庭における自主学習や読書の時間について
- (2) 児童の発言について
- (3) 児童のあいさつについて
- (4) 保護者・地域からの情報収集について

## <学校関係者評価書>

### I 全体評価

今までの学校評価からの課題を捉え、学校組織として対応を考え取り組み、振り返りを行い改善していく体制が整ってきていることにより、着実に教育活動の水準は高まってきており、学校教育目標の実現に向けて、連携・協働して取り組んでいる。

教職員自己評価は、肯定的評価の向上がみられ、学校経営方針に従い共通理解をする中で教職員が一体となって取り組んでいる。そのような中、否定的評価が記されている項目がある。特別支援教育への対応等学校の体制に関わるもの、学習指導や生徒指導等教職員の意識・資質・能力の向上に関わるもの、挨拶や家庭学習・PTA活動等保護者との連携・協働に関わるものであり、これらの課題に対しては、継続的な努力をしてもらいたい。

児童アンケート及び保護者アンケートにおいても、教職員の自己評価の結果を反映したものとなっており、肯定的評価は高い水準を維持している。しかしながら、否定的評価を改善していくことが望まれる。児童アンケートからはCD評価を付けている子供たちの実態を捉えて指導の工夫を行っていくことや保護者アンケートからは学校への願いを理解して教育活動を展開していくこと等、これらの結果を生かしてもらいたい。

### II 特徴

●自主学習や読書時間については、学校からは、家庭学習の手引きや読書週間の取組を講じており、教職員も積極的に指導しているが、児童アンケートや家庭学習強化週間におけるデータから、約25%程度の子供たちが目標時間に達してい

ない。

●児童アンケートからは、授業は楽しく、先生もよく教えてくれている様子が伺えるが、授業でわからないことがあったら先生に聞いたり、授業中に質問や意見を言ったりするという点については、前向きでない傾向が表れている。

●あいさつについては、児童アンケートでは92%の肯定的評価を得ているが、地域の声や教職員からは、あいさつが少ない状況が報告され、意識の違いがある。

●学校では、地域や保護者と連携する中で情報の収集に努めているが、学年や学級レベルでは、なかなか情報収集する機会を設けることができない。このような中、学校と地域や保護者の三者がうまく情報を共有していく体制を構築していく必要がある。

### Ⅲ 今後の課題として意識されたこと

#### (1) 家庭における自主学習や読書の時間について

○子供たちが帰宅した時、保護者がいないので、なかなか律して勉強する状況がない。また、習い事やスポ少などで、時間にゆとりもなくなっている。自主学習に取り組んでいくには、子供たちの意識を変えるようにしていかななくてはならない。遊ぶことも社会性を育む重要であるので、子供たちが目的意識をもって、能動的に行動できる環境を整えることが大切である。

○TVやゲームをする時間が増えていることで、勉強時間が削られていることもある。学習時間の計画を立てることを経験させることも有効で、計画し実施していく力を育てることが大切である。日記を書くことも、机に向かう習慣になる。

#### (2) 児童の発言について

○学校では、グループ学習などで発言をする機会が増えてきている。考えを出す学習では、基礎基本が大事あり、発言できる子供とできない子供の差をうめていく工夫が必要である。家庭の協力も大切であり、子供たちが自分の思いを言えた時は褒めたり、話を聞く時間をとったりしてほしい。考えを文章でまとめる力も必要で、親子で交換日記や伝言板などを行うことも良いのではないか。

○スポーツをやることで、快活になり発言を活発にするようになった事例もある。

#### (3) 児童のあいさつについて

○登校時や出会った時など、あいさつをしに来る子供たちも多くいる。しかし、中には朝、起き抜けのような感じで、元気がない子供たちもいる。早く起きて、きちんとごはんを食べるといった生活リズムを整えていくことは大切である。

○あいさつを呼びかける旗を掲げている学校を見掛ける。こういったことも効果がある。

#### (4) 保護者・地域からの情報収集について

○学校・保護者・地域の三者の連携を図っていくことが大切である。学校⇄保護者、学校⇄地域ではなく、学校⇄保護者⇄地域といったトライアングルの関係を作っていく。

○この地区は、子供たちを地域で育てる意識を持っており、家庭等の状況について理解のある人々が多く居る。子供たちは、スポ少などの予定があり、地域の行事に参加が難しいこともあるが、できるだけ参加してほしい。そのために、保護者にも、協力をお願いしたい。

○広報に、他校の公園清掃等の様子が載っていたが、このような情報も参考にしながら、教育活動を行ってほしい。

### ※特記事項

○分別収集ボックスを見ると、かなり分別収集ができています。持続可能な社会を目指し、子供たちにもリサイクルの大切さを指導してほしい。

